

# 意欲的に開発を続ける老舗が放つ コストパフォーマンスの高いモデル



# TRANSROTOR DARK STAR M2

¥620,000(アームレスモデルは¥400,000、各税別)

### Profile

DARK STARはトランスローターのラインアップの中ではエントリーモデルとなるターンテーブルである。エントリーモデルとはいえ、蓄積してきたノウハウや技術を多数投入された高性能機に仕上がっているのは、老舗ブランドの力量といったところであろう。注目されるのは、多くの部分に特殊高分子素材を採用している点である。同ブランドはアクリル素材を巧みに取り入れた製品作りで知られるが、本機で採用された特殊高分子素材はアクリルに近い振動低減能力を持つことから採用されている。軸受けには強固な真鍮を用い、プッタターのスムーズな回転が図られている。アームレスのDARK STARと、SME M2-9を搭載したDARK STAR M2がラインアップされている。

### ▼本機の目指すところ 平面性と内部損失の 高いアクリルに注目

トランスローターは、ヨハン・レイカ氏が、1972年に創業を開始したドイツの老舗アナログプレーヤー・メーカーである。創業以前は、ミッチェル・エンジニアリングのジョン・ミッチェル氏とともに、平面性と内部損失の高いアクリルに注目し、研究を行った。

その後、ミッチェル氏は、プッタターを浮かせるフロートタイプ方式へと進み、レイカ氏は、プッタターを支えるベース部を強化したリジッド型プレーヤーを開発し、このブランドを立ち上げた。このアクリルの特性を活かすために、アルミ材を脚部やプッタターに採用し、「アクリルとアルミの音響芸術」とまで言われるほどの、モデルを創出している。音を極めるためには、軸受けが大切だと考え、摩擦抵抗が極小となるプッタター軸と軸受けの開発を進めた。結果として、空間描写に優れた、高S/Nでダイナミックレンジ

の広い音質を獲得した。その優れた特性により、使用するカートリッジの音質や特性をフルに発揮することができ、レコードに内包する空間性や微細な音までも再現する。

そして、近年では、空前のアナログブームが世界的にも広がり、開発のコンセプトを変えずに、少しでもトランスローターの音に触れて欲しいとコストパフォーマンスの高い、プッタターのDARK STARを登場させた。このモデルは、アクリルとアルミを使わず、特殊高分子素材を使い、微細振動を減衰させる内部損失を獲得。強固な平面性も実現した。

音質も、同ブランドの上位モデルを踏襲している。したがって、世界的にも高い評価を受け、日本においても注目を浴びているところである。私も音質の良さ、使いやすさ、長く愛用できることを高く評価している。50万円クラスのプレーヤーを検討する方は、候補になることだろう。

### トランスローターとは?

トランスローターは、ドイツの老舗ブランドである。設立は1972年。製品ラインアップはアナログプレーヤー関連に特化している。設立者のヨハン・レイカ氏は、アクリルが振動を低減させるために有効であることに着目し、アクリルとアルミを組み合わせたターンテーブルの開発に取り組んできた。76年にはアクリルガラス製ターンテーブルを搭載したTRANSROTOR ACが完成。以後、アナログシーンで話題を集めるブランドへと成長してきた。2007年に発表されたフラッグシップ機であるARTUSでは、独創的な磁気ドライブであるFMD (Free Magnetic Drive) 方式を採用するなど、意欲的な開発力と徹底した振動対策、美しい外観で注目されるブランドである



### 【Company Data】

- ▶創業:1972年
- ▶国籍:ドイツ
- ▶創業者:ヨハン・レイカ

### ●DARK STAR: 注目すべきポイント

- ① プッタターとベースに特殊高分子素材を採用
- ② モーターユニットは特殊樹脂素材筐体に収納
- ③ 高精度軸受け
- ④ 高いコストパフォーマンス

### Specifications

●駆動方式:ベルトドライブ●プッタター:特殊高分子素材60mm厚●軸受け:真鍮●モーター:外部ユニット●コントロールユニット:33 1/3、45回転切り替え、微調整可能●シャーン:30mm厚●サイズ:約460W×190H×340Dmm(高さはSME M2-9トーンアーム搭載時)●質量:24kg●アームベース:SME 9インチ用を標準装備●取り扱い:エイ・アンド・エム(株)

Text by  
角田郁雄  
Ikuo Tsunoda  
Photo by  
田代法生

TRANSROTOR  
DARK STAR M2



DARK STARに秘めた想い



CEO  
ヨハン・レイカ 氏

ダークスターのプラッターやベースの主要な材料はPOM材（ポリアセタール樹脂）です。プラッターやトーンアームのベースに打って付けの硬質な樹脂素材です。さらにこの素材は優れた振動減衰特性を持っています。外観も共振が最適化されるように念入りにデザインされています。POM材の内部に真鍮が入った黒色の重量級のプラッターはレコード再生時の微細な不要共振を防ぎ、レコードのそりを平らにする作用があります。その重量のあるプラッターを支えるベアリングは真鍮切削した受けとスチールのシャフトで出来ております。これらは公差を少なく作られているのでプラッターは軽く回転して、しかもブレが少ないように作られています。



特殊高分子素材のプラッター(裏面)は、上級機同様の形状に加工。厚さは60mm



軸受けは強固な真鍮製。プラッターを支える軸部はステンレスが用いられている



プラッターを外した状態。ボディはプラッターと同じ特殊高分子素材が採用されている



振動対策が施されたモーター部とそれを司るコントロールユニット。回転数切り替えは、コントロールユニットのスイッチで行う



DARK STAR M2は、SMEの9インチストレートアームM2-9が標準装備されている。トランスローターのトーンアームTR5009も搭載可能



引き締まったデザインも本機の魅力。スタビライザーもプラッターと同じ特殊高分子素材が採用されている

# トランスローターの技術の粋と こだわりが凝縮されたモデル

## ▼本機の特徴と独自性 特殊高分子素材による 独自の振動対策

このモデルの大きな特徴は、アクリルと同様に高い平面性と内部損失を誇る特殊高分子素材(POM樹脂と同等)を、慣性力の高い60mm厚のプラッター、30mm厚のキャビネット・ベース、3点支持の脚部、モーター・ケース、ディスク・スタビライザーに使っていることである。読者もご存知のように、プレーヤーは不要振動の影響を受けないことが大切で、全てに、この高分子素材を使ったわけである。まったく他の素材をコンビネーションしない、独自の振動低減の考えである。一見、マッتناブラック仕上げのように思えるが、実際に間近に見ると、仕上がり goodness、重厚さ、気品の良さを感じさせ、格好良い。ぜひ、一度、専門店で見たい。

S/Nと高精度回転のコアとなる。プラッターも十分に重量があり、慣性力が高い。一見、脚部のように見える駆動モーターは、独立配置され、回転による微細振動を伝えない。ベルトを駆動する大き目のプリーも精密に仕上げられており、滑らかな回転を実現するために、強力な外づけアナログ電源も付属している。これも、このブランドのこだわりである。トーンアームは、SME M2・9ストレートアームを標準装備。アームベイスについては、SMEタイプのみ対応となっており、長さ9インチのみをマウントすることが可能だ。マウントできるトーンアームをあえて絞ること、で実際に扱いやすくなっているほか、プレーヤーの水平調整は、前面の2つの脚部を回し、簡単に行えることなどにも好感を持つ。本機は同ブランドの技術の粋が、扱いやすいかたちで凝縮されているのだ。

## ▼3つのカートリッジでの音 広く深い空間に奏者や 歌い手をリアルに描写

オーディオテクニカのMMポジションで使えるVM760SLC、マイソニックのUltra Eminent Bc、フェリスメーションのPP・2000を使ったが、共通する特徴は、音の透明度が極めて高く、広く深い空間に奏者や歌い手をリアルに描写することだ。何故なら、特殊高分子素材、S/Nの良い軸回転構造、慣性力の高い滑らかな回転が、この特徴に貢献するからである。

この特徴を理解していただいた上で、本レポートを読んでもいただきたい。まず、VM760SLCを使って感心したこと、は、奏者や歌い手の輪郭を明瞭度高く描写し、そのディテールに繊細さや柔らかさを加えていることだ。静けさを引き出す、S/Nの良い、高解像度型カートリッジといえ、周波数レンジの広さや倍音再現性の高さも感じた。中低域の量感にも満足できた。この特性は、高価なMCCカートリッジに迫っているように思えた。私は、コストパフォ

## DARK STARに秘められた魅力

### カートリッジの特性に敏感に反応

プレーヤーの理想的な構造は、まず、スピーカーから伝わる床振動などの微細振動の影響を、プラッターを支えるキャビネット(ベース部)が、一切受けないことである。プラッターに求められることは、平面性と、いつまでも、回り続けようとする高い慣性力である。さらにプラッターの回転では、プラッターの軸とキャビネットの軸受けの摩擦抵抗が、極小となることが大切である。何故なら、金属摩擦は、ノイズを発生させ、プレーヤーのS/Nを悪化させるからである。ベルトドライブ型では、モーターの微細振動を大幅に低減することも大切である。これらの要素を満たすために、トランスローター社は、アクリルに目を付け、アルミ材と組み合わせたのである。そして、長く使い、価格もリーズナブルにできる素材として、DARK STARには、新たに特殊高分子素材を採用した。私は実際にDARK STARを5回ほど使用したが、前述の要素を満たし、カートリッジの音質や特性に敏感に反応することが理解できた。標準装備の9インチ、SME M2-9ストレートアームも、カートリッジの音質をよく再現する。空間にリアルな音像を描写し、音楽でエッセンシャルな弱音再現性の高さにも満足できる。カートリッジのバランス伝送でも効果を発揮するだろう。愛着の湧くプレーヤーだ。

ーマンスが格別に高いので、DARK STARに搭載するカートリッジとして、推薦したい。実際の使用にあたっては、できる限り、S/Nが良く、倍音の再現性の高いフォノイコライザーを選ぶと良いであろう。

Ultra Eminent Bcは、内部インピーダンスが格別に低く、高出力を発生することが、特徴だ。実際に再生すると、レコードに内包する情報をストレートに引き出していることを実感する。ナチュラルな音質であるが、弱音から強音までのダイナミックレンジは広い。音の立ち上がりも速い印象を受けた。ナチュラルかつ、高解像度でエネルギーな音と

言えるであろう。なお、内部インピーダンスが低いので、ハイゲインのフォノイコライザーや対応する昇圧トランスを必要とするであろう。

PP・2000は、空間に奏者の情念までも再現できることを目標としたモデルである。レコードから微細信号を徹底的にトレースできる技術を搭載。したがって、空間性もさることながら奏者や歌い手のちょっとした動作、演奏の深みや音楽のクまでも再現する。この超高解像度特性をDARK STARは、よく發揮した。インピーダンスは4Ωで扱いやすい。同社のフォノイコライザーでバランス伝送にも挑戦された。